

# 事故分析検討を開始

## 1号機出水 規制委が知見反映へ

原子力規制委員会は一日、福島第一発電所事故の分析を行う検討会を開始した(写真)。

国会、政府等における事故調査報告を引き続き検証が求められている課題をめぐり、事故およびその後の対応によって受けた影響などを主な論点に、継続的検討を行い、必要な知見を安全規制に取り入れる考え。



規制委メンバーで元原子力安全委員の久木田豊氏(名古屋大学名誉教授)の分析を行う検討会を始めた(写真)。

池坊保子氏、大野功統氏の各氏が受章した。また瑞宝重光章を、元国立がんセンター長の垣添忠生氏が受章した。

与謝野氏は、衆議院議員として国政にあたり、その間に通産、財務他、重要閣僚を歴任、エネルギー・産業振興政策の推進に尽力した。また遠山氏は、〇一〇三年の

文科相在任中に、日本原子力研究開発機構の前身である日本原子力研究所と核燃料サイクル開発機構との法人統合に関し、手腕を発揮した。

垣添氏は、原産協会の関連団体で放射線医療に関する普及・啓発を行う医用原子力技術研究振興財団の副理事長を務めている。

環境省、任期付職員を公募

健康管理など業務

環境省は五月二十日、任期付環境省職員の募集を行っている。環境保健部に配属で、健康管理、健康調査、リスクコミュニケーションなどを行う。

環境省は、放射線に関する自己の知識・経験を環境省職員として生かすか、のいずれか一方の課題で小論文(千六百字程度)を作成し、履歴書(写真貼付)と過去の業務経歴一覧とともに、環境省大臣官房秘書課(〒100-8707)まで送付のこと。

環境省は、環境省のホームページの採用・キャリア形成支援情報の任期付職員のページを参照。

IAEA、マネジメント学校 聴講希望者を受け付け

日本原子力産業協会は、日本原子力研究開発機構、東京大学、原子力人材育成ネットワークと共同で、IAEAが主催する「原子力マネジメントスクール」を五月十七日(月)から六月十日(月)まで、東京(前半)と東海村(後半)で開催する。同スクールの一部の講座を研修生以外の一般にも開放することとし、聴講希望者の登録を受け付けている。

公開されるのは五月三十一日(金)九時から十一時、How to Communicate Radiation Risk(国際放射線防護委員会コンサレス副委員長が講師)の録画放映のほか講演等。東京大学本郷キャンパス山上会館二階大会議室にて。

## 与謝野氏、遠山氏など 春の叙勲・褒章 旭日大総章に

政府は四月二十九日、春の叙勲受章者を発表し、本紙関連の受章者は、旭日大総章を、元通産産業大臣の与謝野馨氏、元文部科学大臣の遠山敦子氏、元文部科学副大臣の

高浜3、4号に水素低減装置

関西電力は四月三十日、一三年度のグループ経営計画を発表し、原子力発電に関しては、安全最優先の行動を一層徹底した上で、大飯3、4号機に続き、高浜3、4号機の再稼働に取り組むこととしている。

警察広報誌が原子力警備を特集

災害対応など

警察庁が随時発行している広報誌「焦点」(一三年三月)が、原子力発電所の警備情勢を特集している。

環境省、科学的議論を強く要請

敦賀破砕帯評価で

日本原子力発電は四月二十六日、同日二十四日開かれた原子力規制委員会の敦賀発電所敷地内破砕帯有識者会合の第四回評価会合を踏まえ規制委員に議事運営の改善を強く要請した。

除染ガイドラインを改定

環境省 より効果的な作業のために

環境省は、二日、東京電力福島第一原子力発電所事故後の除染作業の手順をまとめたガイドラインの改定版を環境省のホームページ

1号貯水槽の汚染水移送終了

福島第一発電所

東京電力は、福島第一発電所の地下貯水槽の汚染水対策として漏えいが判明した1号地下貯水槽からの地上タンクへの移送作業を七日までに終了した。先月二十三日から移送作業を開始していた。

フィルタメント設置で土木工事

中国・島根2、3号

中国電力は五月初旬から島根原子力発電所2、3号機で、フィルタメント設備設置のため土木工事に着手すると四月二十三日発表した。万一格納容器内の圧力が上昇した場合に圧力を逃がすためフィルタメントを設置する安全装置。福一事故対応の一環。

飯田孝三氏(いいたこうぞう)元関西電力副社長、元日本原子力発電社長が四日に死去した。享年九十歳。飯田氏は原産の常任理事、顧問などをつとめた。

## 浜岡、耐震安全を確保

### 中部電力 南海地震の推計に対応

中部電力は四月二十六日、内閣府が昨年三月に公表した南海トラフ巨大地震発生時の震度分布の推計結果を踏まえ浜岡原子力発電所の2号機から5号機は、見込まれる最大の揺れに耐震安全性が確保されることと発表した。

同社は、今回廃止措置手続き中の1号機を除き、運転停止中の2、3、5号機が、内閣府の推計の通り震度7の地震が発生した場合に、最大千九百ガルの揺れが見込まれる5号機でも、原子炉建屋などの耐震性は確保されることを確認。2、3、4号機については最大千九百ガルの揺れに耐えられる程度と評価した。

今後、新たな規制基準など踏まえて3、5号機の施設全般を対象に地震対策の計画をまとめ早期に着手する考え。

防波壁を含む津波対策は耐震性の精査や必要な設計見直しをはかるため対策の完了目標を「取水槽他の溢水対策」などの完工目標である二〇一四年度末に見直しした。

## 破砕帯の活動性はないと評価

原子力機構は二年八月、旧原子力安全・保安院より、「もんじゅ」の白木一丹生断層との地質構造上の関連性などに関する指摘を受け、追加調査を実施していた。今回の調査報告では、原子炉建屋基礎岩盤部で最長の破砕帯周辺の地形に断層変位は認められず、破砕帯が引きずられて動くことはいかなる結論も付けていない。

前田副社長が会長に昇任

電源開発 役員人事

電源開発は四月三十日、前田泰生副社長を会長に昇任させる役員人事を発表した。

六月の株主総会を経て正式決定となる運びだ。北村雅良社長は再任の予定。

環境省、科学的議論を強く要請

敦賀破砕帯評価で

日本原子力発電は四月二十六日、同日二十四日開かれた原子力規制委員会の敦賀発電所敷地内破砕帯有識者会合の第四回評価会合を踏まえ規制委員に議事運営の改善を強く要請した。

警察広報誌が原子力警備を特集

災害対応など

警察庁が随時発行している広報誌「焦点」(一三年三月)が、原子力発電所の警備情勢を特集している。

環境省、科学的議論を強く要請

敦賀破砕帯評価で

日本原子力発電は四月二十六日、同日二十四日開かれた原子力規制委員会の敦賀発電所敷地内破砕帯有識者会合の第四回評価会合を踏まえ規制委員に議事運営の改善を強く要請した。

除染ガイドラインを改定

環境省 より効果的な作業のために

環境省は、二日、東京電力福島第一原子力発電所事故後の除染作業の手順をまとめたガイドラインの改定版を環境省のホームページ

1号貯水槽の汚染水移送終了

福島第一発電所

東京電力は、福島第一発電所の地下貯水槽の汚染水対策として漏えいが判明した1号地下貯水槽からの地上タンクへの移送作業を七日までに終了した。先月二十三日から移送作業を開始していた。

フィルタメント設置で土木工事

中国・島根2、3号

中国電力は五月初旬から島根原子力発電所2、3号機で、フィルタメント設備設置のため土木工事に着手すると四月二十三日発表した。万一格納容器内の圧力が上昇した場合に圧力を逃がすためフィルタメントを設置する安全装置。福一事故対応の一環。